

令和3年度「事業評価・改善会議」開催報告

令和4年3月30日（水）、当所4階会議室において、経営発達支援計画の令和3年度事業評価・改善会議を開催しました。

1. 経営発達支援計画とは

- ・商工会議所が小規模事業者に対して行う、伴走型の事業計画策定・実施支援（経営分析・市場調査・事業計画策定・販路開拓等）を行うための事業計画を「経営発達支援計画」といい、経済産業大臣が認定・公表・支援する制度です。
- ・当所は、小規模事業者の「経営力の向上と販売促進への支援」を強力に推進し、地域経済の競争力強化と活性化を図るため、「経営発達支援計画」を策定。平成27年7月15日付で認定を受け、平成27年度～平成31年度の5年間にわたり、長岡地域の発展に向け、取り組みました。
- ・なお、この計画の事業実施期間が令和2年3月31日迄であったことから、新たな計画の策定を進めていたところ、令和元年7月16日、「改正小規模事業者支援法」が改正され、経営発達支援計画は、これまでの商工会議所・商工会の単独申請から、関係市町村と共同で作成し申請することとされたことから、長岡市と共同で計画を策定し、令和元年11月7日付で認定申請を行い、令和2年3月16日付で認定を受けました。現在の計画の実施期間は、令和2年度から令和6年度の5年間となっております。

2. 事業評価・改善会議とは

- ・この会議は、中小企業診断士や行政機関、金融機関等の有識者で構成する委員に対して、経営発達支援計画に記載した事業の実施状況や成果を報告し、成果の評価・見直し案の提示をいただくため、毎年度、開催するものです。
- ・評価結果は正副会頭会議に報告するとともに、当所ホームページと会報で公表することとしています。



3. 会議構成メンバー

（順不同・敬称略）

役職	氏名	所属・役職
委員長	今井進太郎	中小企業診断士
委員	坂井 朋之	(公財)にいがた産業創造機構 テクノプラザ長
委員	里村 誠	長岡市商工部産業支援課 課長
委員	村山 光博	長岡大学 学長
委員	浅沼 靖司	日本政策金融公庫長岡支店 支店長

4. 令和3年度「経営発達支援計画」事業の実施状況について

- ・経営発達支援計画では、事業評価は事業の効果を判断するため、数値目標に照らした評価を行うこととしています。

No.	事業項目	事業数／目標達成数	達成率
1	地域の経済動向調査に関すること	2事業／2事業	100%
2	経営状況の分析に関すること	3事業／3事業	100%
3	事業計画策定支援に関すること	2事業／2事業	100%
4	事業計画策定後の実施支援に関すること	1事業／1事業	100%
5	需要動向調査に関すること	2事業／0事業	0%
6	新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	3事業／2事業	67%
7	地域活性化に関すること	3事業／1事業	33%
8	支援ノウハウ等の情報交換に関すること	4事業／1事業	25%
9	経営指導員等の資質向上に関すること	2事業／2事業	100%
	合計	22事業／14事業	64%

5. 委員長・委員のコメント(総括)

【総括コメント】

- PDCAをしっかりと回し、実行し改善する仕組みができていて素晴らしい。
- コロナ禍で企業経営が厳しい状況の中、柔軟・機敏に対応している。まだまだ見通しがたたない状況であるが、引き続き対応・支援をお願いしたい。

【その他、主な意見や指摘事項】

1. 評価・感想

- ・PDCAをしっかりと回し、実行し改善する仕組みができていて素晴らしい。
- ・コロナ禍の中、柔軟・機敏に対応している。まだまだ見通しがたたないが、引き続き対応してほしい。
- ・会員企業が大変な状況の中、訪問を実施していることは素晴らしい。
- ・事業内容が多岐に渡っていること、コロナ禍でも多くの事業が数値目標を達成していることは素晴らしい。
- ・長岡市や関係機関との連携を引き続き強化してほしい。

2. 改善に向けた意見

- ・巡回訪問の件数が多いが、職員に対する負担やコロナウイルス感染リスクを考えるとあまり高い目標を設定しなくてもよいのではないかと。巡回訪問については量だけではなく、質の評価を設定してほしい。
- ・クオーレ祭りやポッキリパスポートは市民に対して浸透しており継続して実施する中で参加者の創意工夫を促す取り組みを検討してほしい。

以上